



# ふるしろ、こ しょうてんがい

2月 9日(火)  
10日(水)  
12日(金)

## ～お店屋さんごっこ～

今年度は感染症予防対策として幼児たちだけでお店屋さんごっこを行いました。どんなお店がよいか自分たちで考えながらつくり、買い物を楽しみました。対面での売り買いができないため無人販売でも楽しめるようにみんなでアイデアをだして活動しました。



3歳児うさぎ組は友達と一緒に作ることを楽しむところから少しずつお店屋さんごっこに意識が向き始め、『みんなに作ってあげたいな』という思いが生まれてきました。



作るの楽しいな。  
もっと作ろう。



作ることを楽しむ



買ってくれるかな。



温かいお風呂  
気持ちがいいね。

いらっしゃいませ。

言葉やしぐさでやりとり  
する心地よさを味わう

ごっこの世界に浸り  
やりとりを楽しむ



ひとつください。



美味しいね。

どれにしますか。

これが  
ほしいな。

友達と一緒にごっこ遊びの世界に浸り「たこ焼きにソースをかけてください」「青のりはありますか？」などと言葉でやりとりすることを楽しんでいました。

身近な材料で品物を作る楽しさや、作った物が売れるうれしさも感じていました。また、4・5歳児のお店を訪れ、「これいいな、でもこっちもほしいな」と悩みながら買い物を楽しみ、楽しいひとときを過ごすことができました。



4歳児くま組は、身近な材料を使ってイメージを膨らませ、見立てて遊ぶところからお店作りが始まりました。

フワフワして本物みたいだね。

感触や色から品物の形や味をイメージし、作っていく中で思いついたことを実現させていくおもしろさを味わっていました。



美味しい綿菓子を作りたいな。

これくらい入れたらいいかな。

綿菓子いりませんか～！



いろんな味が、ありますよー。

お店のやりとりに必要な言葉を使って友達とやりとりをしよう

ひとつ100円です。



イメージを出し合い本物らしく作る



自分たちが作った物が売れるうれしさを味わう



お店に必要な物を考える



いろいろなお店に行ってみよう

お化け屋敷のチケットもらったよ。2つのコースがあるんだって。

お化けの仕掛けがいっぱいでドキドキするね。

レストランにはいろいろなメニューがあるね。



異年齢の友達のアイデアに触れる



4歳児は、3歳児や5歳児のお店に出かけることで新しいアイデアに触れるおもしろさを味わっていました。刺激をもらい『もっと買い物をしたい』『もう一度あのお店に行ってみよう』という思いが膨らんでいました。

その後、5歳児の真似をしてお化け屋敷づくりをして遊ぶ姿も見られています。



5歳児きりん組はこれまでの体験を基に、友達とアイデアを出し合って自分たちのお店作りを進めてきました。

それ、いいね。ぼくが持っていてあげる。

### お店の準備をしよう

こんなお化け屋敷にしたい。

毛糸を編むのは難しいね。

おもしろそうだね。

ここを付けたら本物のゲーム機みたいになるかな。

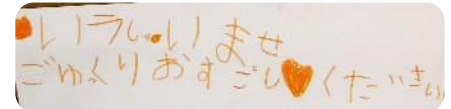
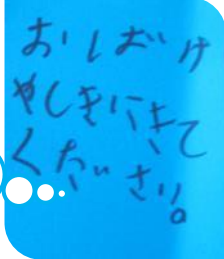
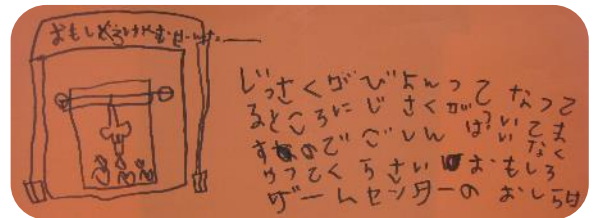
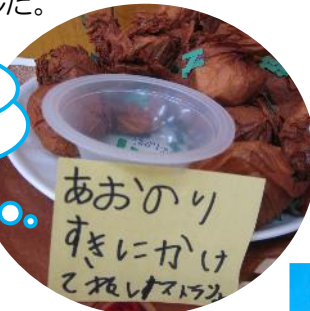
なかなか進まないな。

友達と相談しながらどんなお店にするか考えたり、イメージしたことを実現させるためにはどうすればよいか試行錯誤したりしていました。また、グループの枠を超えてアイデアを伝え合ったり品物づくりを手伝ったりして互いに協力する姿がたくさん見られました。

お客さんへの言葉も書いておこう。

チケットも配っておこう。

ゲームの説明書も貼っておいた方が分かりやすいね。



### 買い物を楽しもう

いよいよ『古城商店街』がオープンし、商品の値段を見て手作りのお金を払いながら買い物を楽しみました。「これは弟の分」「お母さんにアクセサリーを買おう」などと家族が喜んでくれることを想像しながらプレゼントを選んでいました。

この剣、かっこいいな。

いろんな種類があるね。

何円かな。



### 商品の補充や店の修理をしよう

もう少しで直せそう。

壊れたところは直った？

こっち側は任せて。

今年度は対面しでの関わりができなくなった分、どうすればお客さんが喜んでくれるかと自分たちなりに考える姿が見られました。

